

A 実技【3日間コース】 講師：小林七緒 芝居をつくる！本気の3日間

演劇大学inくだまつの最初から最後までを通し講座。三日間という限られた時間で、本気の一本を創るワークショップ。役者志望の方、何かに没頭してみたい方はぜひご参加ください！忘れられない3日間になること間違いなし。

■参加費：一般2,000円（学生1,500円） ■定員：20名
■日時：13日(金)19:00～21:30／14日(土)9:30～21:30／15日(日)9:30～12:00 午後発表

B 実技【単発】 講師：桂 歌若 キラクにラクゴ【其の一】～落語入門～

落語の魅力に触れる体験型講座です。奥深い落語の世界を、プロの落語家のエスコートで体験できます。

■参加費：一般1,000円（学生500円） ■定員：30名
■日時：13日(金)19:00～21:30

C 実技【単発】 講師：大杉 良 滑舌矯正のヒント 発声基礎訓練ワークショップ

滑舌矯正には、口形の他に、息を出す量とタイミングが大事。できているつもりで実際わかっていないことの多い自分の滑舌と発声を、簡単な基本訓練をしながら修正、習得します。

■参加費：一般1,000円（学生500円） ■定員：30名
■日時：13日(金)19:00～21:30

D 講義【単発】 講師：福田善之 演劇アカデミック講座① ～ドラマはこう生成する！芝居を100倍楽しむ秘密～

知ればもっと観たくなる！プロが教える芝居をたのしむ秘訣。ここを知れば、何気なく観ていた舞台がぐっと近づいてくる！

■参加費：一般1,000円（学生500円） ■定員：30名
■日時：13日(金)19:00～21:30

E 実技【単発】 講師：桂 歌若 親子で挑戦！落語【其の一】

子どもたちに日本の伝統話芸に触れてもらう体験型講座です。ぜひ親子でご参加ください(もちろんおじいちゃんおばあちゃんと参加もOK♪)こどもだけで参加してやるぞ！って強者も、いい歳なんだけど、やらせて！って方も、もちろんOK！

■参加費：1,000円 ■定員：15組
■日時：14日(土)9:30～12:00

F 実技【2日間コース】 講師：大杉 良 ここに届く読み聞かせ&朗読劇

文章を読んで聞かせる単純なことでも、プロのちょっとしたコツをつかむだけで、数段にその魅力がアップします。読み上げていた文字を生きた言葉に変えて、聞き手のところに届ける。

■参加費：一般1,500円（学生1,000円） ■定員：20名
■日時：14日(土)9:30～17:00／15日(日)9:30～12:00 午後発表

G 講義【2日間コース】 講師：福田善之 創作脚本クリニック ～ドラマはこう創る～

高校演劇や社会人劇団の劇作担当者が書いた創作脚本を、プロの視点で解説&アドバイス！いま劇作を担っている人も、これから挑戦したい人も必見の講座です。

■参加費：一般1,500円（学生1,000円） ■定員：20名
■日時：14日(土)9:30～12:00／15日(日)9:30～12:00

H 実技【単発】 講師：謝 珠栄 みんな集まれ♪わくわくミュージカル

子どもからご年輩の方まで参加できる愉快的ミュージカル体験講座。音楽と身体で思いを表現する楽しさを知ってもらいます。

■参加費：一般1,000円（学生500円） ■定員：30名
■日時：14日(土)13:00～16:00

I 実技【単発】 講師：桂 歌若 キラクにラクゴ【其の二】～落語入門～

落語の魅力に触れる体験型講座です。奥深い落語の世界を、プロの落語家のエスコートで体験できます。※「其の一」に参加された方もされていない方もご参加いただけます。

■参加費：一般1,000円（学生500円） ■定員：30名
■日時：14日(土)13:00～17:00

J 実演【単発】 講師：松本祐子 芝居作りの基本を実践してみよう！

演じる時に必要なことは何だろうか、それを引き出すためにはどんなアプローチと助言が必要なんだろうか、そういったことを実際に短い台本を使用して体験してもらいたいと思います。よく聞き、よく見て、よく伝える。シンプルだけど難しいことを優しく教えたいと考えています。

■参加費：一般1,000円（学生500円） ■定員：30名
■日時：14日(土)15:00～21:30

K 講義【単発】 講師：村井 健 演劇アカデミック講座② ～演劇タイムトラベル！ざっくり日本演劇史～

古代から続く長い演劇の歴史を、一気に走り抜けます。数時間の演劇歴史トラベルを楽しみませんか？

■参加費：一般1,000円（学生500円） ■定員：30名
■日時：14日(土)18:00～21:30

L 講義【単発】 講師：村井 健 演劇アカデミック講座③ ～先生、ぶっちゃけ日本の現代演劇ってどうなんですか～

国際的にみて日本の現代演劇はどのように評価されているのか？プロの演劇評論家がぶっちゃけ解説してくれます。

■参加費：一般1,000円（学生500円） ■定員：30名
■日時：15日(日)9:30～12:00

M 実技【単発】 講師：桂 歌若 親子で挑戦！落語【其の二】

子どもたちに日本の伝統話芸に触れてもらう体験型講座です。ぜひ親子でご参加ください(もちろんおじいちゃんおばあちゃんと参加もOK♪)※「其の一」に参加された方もされていない方もご参加いただけます。

■参加費：1,000円 ■定員：15組
■日時：15日(日)9:30～12:00

N シンポジウム 「地域おこしとしての演劇」

演劇というコンテンツには、どんな可能性があるのか！？維新の頃には、現代日本の基盤を創ろうと燃えたこの地域をもう一度熱くするのは、文化ではないか！？山口県の演劇文化の振興と地域おこしに必要不可欠なものを考えます。

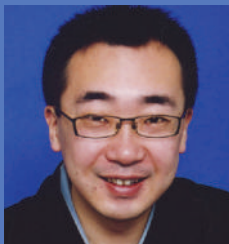
パネリスト 和田喜夫（日本演出者協会）
粉山勝人（長久手市文化の家）
鄭 慶一（枝光本町商店街アイアンシアター）
臼井 稔（徳山大学）
コーディネーター 堀永州平（オーガニック・メディア勇魚ISANA）
■参加費：無料 ■定員：100名 ■日時：15日(日)15:30～17:00

※日程・講座内容につきましては、諸事情により変更することがあります。
※講義の詳細は日本演出者協会にお問い合わせください。



小林七緒
《こばやし ななお》

俳優、演出家。早稲田大学法学部卒業。1998年より流山児★事務所に参加。2000年9月より1年間、文化庁在外研修員としてカナダ留学。帰国後「若手演出家コンクール2001」で最優秀演出家賞を受賞。主な演出作品に「夢謡話浮世寝間」(流山児★事務所)「標的家族！」(社団法人日本劇団協議会)「7ストーリーズ」(文化庁芸術家在外研修の成果)「桜の園」(韓国・アジア演出家展)などがある。日本演出者協会理事。



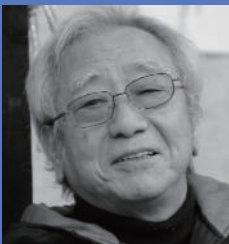
桂 歌若
《かつら うたわか》

青森県弘前市出身。昭和62年、桂歌丸へ入門し、平成13年に真打昇進。高座出演をこなす一方、「教育こそ人類の最も偉大な資産」を信条に、落語を題材としたワークショップ活動へ精力的に取り組む。また、江戸庶民文化の研究者として著述や講演も行っている。その他、声優としてアニメ作品や吹き替え作品に多数出演。主な出演作に「時をかける少女」(角川映画)。著書には「一話3分落語ネタ入門」(朝日新書)などがある。



大杉 良
《おおすぎ りょう》

東京出身、94～98年劇団未来良夢主宰。08～13年、栗山民也氏に師事。新国立劇場演劇研修所講師などを担当。ミントシアター代表。主な演出、愛知万博地球市民村、国民文化祭茨城・坂東市民劇「風の砦-平将門」、大野城まどかびあ「銀河鉄道の夜」、島根県民ミュージカル「ビリーブ・イン・ミー」、水戸芸術館「大とろぼうハッツェンブロッツ」、高岡市民会館「万葉ファンタジスタ大伴家持」。他に、こまつ座、わらび座、坊っちゃん劇場にて演出助手。



福田善之
《ふくだ よしゆき》

1945年、東京で三月と五月に空襲を体験。同50年よりこの道に。59年、戯曲「長い墓標の列」岸田戯曲賞佳作。以後、「真田風雲録」(62)、「オッペケペ」(袴垂れはどこだ) (63)、「希望-幕末無類篇」(90)等。94年「壁の中の妖精」紀伊國屋演劇賞。95年「私の下町-母の写真」読売文学賞、芸術祭賞。01年紫綬褒章。74年、中岡慎太郎を軸に高杉晋作、久坂玄瑞らを描いた時代小説「草莽無類なり」(乱雲篇)を発表。2010年「颯風篇」「光芒篇」を書きついで朝日新聞出版より刊行。四十年の宿願を達した。「猿飛佐助の憂鬱」



謝 珠栄
《しゃ たまえ》

1971年宝塚歌劇団に入団、退団後NYへ留学。帰国後「東京キッドブラザース」『宝塚歌劇団』『夢の遊眠社』『こまつ座』等の公演に参加。“演劇的踊り”が高く評価され、個性的な振付は演劇界に大きな衝撃を与えた。後も、振付家として幅広く活躍し、1990年より本格的に演出家へと転向する。受賞歴、第43回芸術選奨文部大臣新人賞、第20回菊田一夫演劇賞の他、第43回紀伊國屋演劇賞個人賞、第16回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞、第34回松尾芸能賞。



松本祐子
《まつもと ゆうこ》

文学座所属の演出家。1999年より文化庁派遣芸術家在外研修員として1年間ロンドンにて研修。主な演出作品に「冬のひまわり」「秋の螢」「ペンテコスト」「ぬけがら」「大空の虹を見ると私の心は躍る」(以上文学座公演)、「ピーターパン」「ウーマン・イン・ホワイト」(ホリプロ)、「てのひらのこびと」「鳥瞰図」「やけたトタン屋根の上の猫」(新国立劇場)などがある。2005年毎日芸術賞・千田是也賞を受賞。桜美林大学非常勤講師。



村井 健
《むらい けん》

演劇評論。1946年秋田県生まれ、明治大学文学部卒。日本文芸家協会会員、社団法人「日露演劇会議」専務理事、紀伊國屋演劇賞審査委員、テアトロ新人戯曲賞選考委員、首都大学東京非常勤講師、JOKO演劇学校講師。新国立劇場演劇専門委員、05年度文化庁文化交流使(派遣国ロシア)、NHK「シアター・コレクション」オフィシャル・アドバイザーなどを歴任。著書「シチュアション」(五柳書院)、『(要点)日本演劇史」(新国立劇場情報センター)、編著「海を越えた演出家たち」(れんが書房新社)ほか。



和田喜夫
《わだ よしお》

1951年山口県下関生まれ。早稲田大学在学中より演出を始め、文学座養成所を経て、1982年から11年間、劇作家・岸田理生との共同作業を続ける。92年オーストラリアのアデレード、パース国際演劇祭で『糸地獄』を上演し絶賛を得る。01年よりオーストラリアやカナダ先住民の劇作家との共同作業を始める。「在日」の演劇人との共同作業も多い。代表作『糸地獄』『居留地姉妹』『ウィンドミル・ベイビー』等。演劇企画集団楽天団代表。日本演出者協会理事長。



粉山勝人
《ちよん きょんいり》

長久手市文化の家事務局長。84年からオペラ、バレエ、ファッションショーなど照明オペレーターで全国ツアーに参加。'93年から岐阜県瑞浪市総合文化センターにて文化振興を担当。'97年から長久手町文化会館建設準備室で長久手町文化の家の設立に関わる。開館後は自主制作のオペラ、演劇などの舞台美術、舞台監督、舞台照明を担当。'99年から企画制作を兼務。非営利特定法人世界劇場会議名古屋理事、社団法人日本照明家協会会員、碧南市指定管理者審査委員。



鄭 慶一
《てい けいいち》

2013年4月より福岡県北九州市にある「枝光本町商店街アイアンシアター」の運営代表を務める。「地域にアートは必要か？」をテーマに様々なアーティストとの共同事業を行う傍ら地域活動にも積極的に参加し、本当に継続可能性のある地域での芸術活動を模索する。主な主催事業として「枝光まちなか芸術祭」「勝手に来やがれ踊る商店街」「東北days」を手がける。



臼井 稔
《うすい みのる》

立教大学卒業後、製薬会社、コンサルティングファーム、広告会社、シンクタンクを経て2004年より徳山大学教授。一貫してマーケティング畑で動しむ。キャラクタービジネスなどのコンテンツビジネスが専門。近年、多くの人々に癒し感や活力を与え、物語に魅了される世界観スキームが地域でどのように作用するか、また、自然資源や社会的資源などに着目し、コンテンツ創出とブランディング戦略を研究テーマに掲げ、研究活動の真最中。